目次

動作確認環境2
受付フォーム動作環境2
PDF 閲覧環境
アクセス記録について2
受付の流れ3
ページ遷移図3
会員認証
トップページ5
新規演題登録
共著者/キーワード/参考文献6
共著者所属入力6
内容確認6
演題の修正7
演題の取り下げ(キャンセル処理)7
お支払い8
原稿を提出する9
最終的な画面イメージ10
システムエラーが発生した場合11
1.エラー番号が表示されている場合(検出できたシステムエラー)11
2.その他のエラー画面 (検出できなかったサーバーエラー)

動作確認環境

受付フォーム動作環境

OS/Browser	Edge	IE 11	Google Chrome	Firefox	Safari
Windows 7		0	0	0	
Windows 8.1		0	0	0	
Windows 10	0	0	0	0	
Android 5.0 ^{‰1}			0	0	
Android 6.0 ^{‰1}			0	0	
Mac OS X (El Capitan)			0	0	0

- ※1 Android 端末は種類が非常に多いため、環境によっては動作しない恐れがあります。
- ※全環境 Javascript の許可が必要です。

Javascript が無効の場合、通常とは異なるモードで動作し、最低限の動作を行えるようにしていますが、快適な動作を行うためには有効である必要が有ります。

※マイページの仕様上、決済に Javascript が必須です。決済を行うには Javascript を必ず許可する必要があります。

PDF 閲覧環境

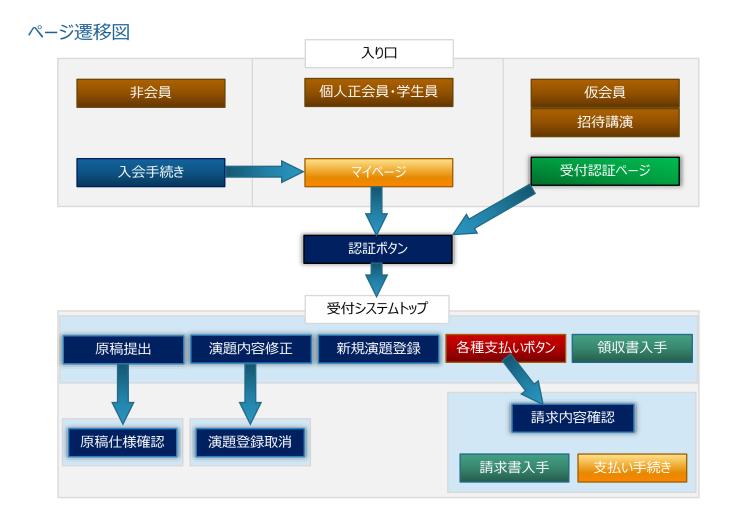
請求書および領収書 PDF は Adobe Acrobat Reader で閲覧することを想定しています。

- Adobe Acrobat Reader : https://get.adobe.com/jp/reader/
- GoogleChrome , Firefox 内蔵ビューワでも正しく表示されます。
- × Microsoft Windows 10 付属の Edge 及びリーダーアプリでは文字化けが発生します。

アクセス記録について

本システムは、不測の事態に備え、パスワード以外の入力情報、アクセス情報を記録しています。 「システムでエラーが発生している」システムトラブルや、「登録した覚えがないのに情報が変わっている」などの第三者によるアクセスが無かったか、など、システムの安全な運営、調査が出来る環境を維持するために記録されます。 これらの記録は、法的効力、対象者の同意が無い限り、関係外の人物へ提供することはありません。

受付の流れ



会員認証

1.会員

マイページトップページにある講演申込みボタンから登録に進むことが出来ます。

2.招待講演

管理者が発行したゲスト用 ID とパスワードを用いて、システムトップの認証画面よりログインが出来ます。

(通常会員もこちらから認証することも出来ます。)



退会申請
 退会の申請を行います。

 マイベージ操作マニュアル マイベージの各操作について確認できます。 マニュアルはダウンロードすることができます。

3.非会員

非会員の方は、講演登録を行うことができません。

溶接学会ホームページ「入会案内」より、会員入会手続きを行った後、「1.会員」の認証を行って下さい。

それぞれの認証確認画面は次のようになります。

どちらからログインを試みた場合でも、戻るボタンは システム側のログインページになります。



トップページ

認証に成功すると、右図の画面になります。

最初は、「新規登録」「ログアウト」の 2 つのボタンが 有効です。演題登録を進めることにより「合算請 求」が有効になります。

参加費は演題登録が発生するまで登録が行えません。



また、年会費が未納の場合次のようなエラーが表示されます。また、その他エラーとなる通知はこのような形で表示されます。

年会費をお支払い下さい

こちらのボタンをクリックすることで、マイページへ移動 することが出来ます。



新規演題登録

「新規登録」ボタンを押すと、演題情報入力画面 になります。

新規登録へ

通常のフォーム同様

に必要事項を入力し、演題を登録します。登録し た演題は、設定期間内であればいつでも修正が行 えます。

期間を過ぎると、修正や取り下げが行えなくなります。



共著者/キーワード/参考文献

これらの項目は、登録者により必要な件数が異なりますので、複数件登録する事が出来ます。

マニュアルの領域上画像は共著者のみですが、キーワード、参考文献共に同様の機能が含まれて居ます。

1 件登録するごとに 1 件分の登録枠が自動的に 追加され、事実上無制限に登録することが出来ま す。



共著者所属入力

所属に関しては、同じ内容を何度も入力しなくても 良いように、何かキーを入力すると、候補が現れま す。この候補は先に入力した内容です。



内容確認

「確認」を押すと入力内容に問題がない場合は右 図のような確認画面に遷移します。

なお、前述したように登録後も設定期間内であれば内容の修正が可能です。

新規演題登録に限り、登録完了メールが届きます。



演題の修正

演題を登録すると、申込演題一覧に「受付番号」「日時」「タイトル/副題」「修正と取下」「入稿」「請求」の3つのボタンが追加されます。修正を行うには、「修正と取下」ボタンを押します。



修正画面は新規演題登録と全く同じ手順のため、割愛します。

演題の取り下げ(キャンセル処理)

演題の取り下げは、「<u>修正期間内である</u>」「支払い を完了していないこと」が条件のため、何れかを満た していない場合取り下げることが出来ません。

条件を満たしている場合、「<u>修正と取下</u>」ページの 最下部に「<u>この論文を取り下げる</u>」ボタンが出てきま す

操作を間違えて取り下げないよう、ご面倒ですが数値をコピー&ペーストまたは入力していただき、取り下げるボタンを押して下さい。

ご面倒ですが、もう一度入力していただき、初めて 取り下げが完了します。







キャンセルが成功すると、一覧表示が「キャンセル済みです」表記に変更されます。

3	2016/11/12 アーク溶接による放電グメージ観測	キャンセル済みです	
	13:46:16 シミュレーション技術への適応 [3]		

お支払い



請求が発生すると、赤いお支払いボタンが表示されます。こちらをクリックすることで請求ページを開くことが出来ます。

但し、この手段の場合は1件ずつのお支払いが必要となり、お手間をかけることになります。

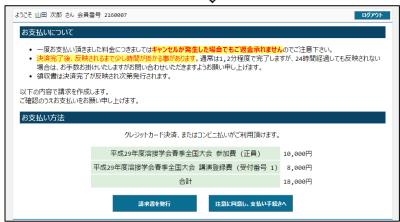


演題を登録することで「合算支払い手続きへ」のボタンが有効になります。



「合算支払い手続き」をご利用いただくことで、現在 発生している請求を一括でお支払いいただくことが出 来ます。

合算でお支払いいただくと、右図のように複数の請求 が一纏めになります。



「支払い手続きへ」ボタンを押すと、マイページのお支

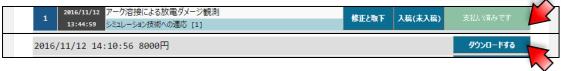
払いシステムへ移動します。次のような遷移となります。





お支払いが完了すると、支払い済み表記に変更され、領収書が発行されます。なおお支払い直後は反映されておらず、決済 会社より結果が通知され、反映されるまで 1 分程度かかることがあります。





決済反映後、数秒で発行されます。

以上でご清算の完了となります。

原稿を提出する

原稿を提出するには、

「年会費」「演題登録費」「大会参加費」 のお支払いを完了している必要があります。 申込みできません
以下の理由で通題概要の登録が出来ません。
・ 演題登録費が未納です
支払い処理を行ってから、反映されるまで、1.2分ほどかかります。

まだ原稿が提出されていない場合は(未入稿)と表示されます。

本フォームよりアップロードしたファイルは、簡易チェックシステムにより最低限のチェックが行われます。

警告判定:ページ数が2ページではない

注意判定: 大きさや縦横比が A4 基準と異なる 注意判定: PDF バージョンが 1.4 以下である

注意判定は原則として受け付けますが、警告判定は受け付けません。

提出に失敗すると右図のように警告は赤ベース、注 意は黄色ベースで表示されます。



- PDFは2ページで構成されている必要がありますが、1ページのPDFが投稿されました。
- 1ページ目がA4の規定サイズではありません。 A4の比率は1.414(210mm × 297mm / 595.32px × 841.92px (72 dpi))ですが、比率 0.707 (841.86px × 595.26px)で構成されています。

最終的な画面イメージ

お申込み、手続き、全てが完了すると、次のような表示になります。



システムエラーが発生した場合

エラーが発生してしまいご不便お掛けいたします。エラーが発生した場合の対応方法として2つの事象が御座います。 つきましては「office@jpp1.jp」にまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

システムエラー意外に関するお問い合わせは事務局までお願いいたします。

1.エラー番号が表示されている場合(検出できたシステムエラー)

本システムは、「アクセス記録について」」に記載しているように、不測の事態に備え、必要なログを記録しています。 この記録が行われているシステムエラーの場合は、この特定番号よりエラーが発生した状況を追跡することが出来ます。 次のような画面が出た場合は、お手数ですが表示されている「エラー特定番号」をご連絡下さい。

申し訳ございません システムエラーを検出しました。 解決できない場合は恐れ入りますが、エラー特定番号「 2160007-169 」をお伝え下さい。						
	よつごそ 山田 水即 さん 会員番号 2160007 ログアウト					
	筆頭演者					
	会員番号	2160007	会員区分	正貝		
	氏名	サスト きゅう 山田 次郎	生年月日	1980年05月29日(木) (大会最終日時点 36歳)		
	他	現時点で登録されているマイページ登録情報 個人情報保護の				
	講演情報					

2.その他のエラー画面 (検出できなかったサーバーエラー)

次ような[1]以外のエラー画面が出た場合、エラー特定番号が表示されません。お手数ですが、「**会員番号、事象発生時刻**」をご連絡下さい。出来ましたら、「<u>OS</u>,ブラウザ,ブラウザバージョン」もお伝え下さい。

'/jweld/convention/XXXx' アプリケーションでサーバー エラーが発生しました。 ランタイム エラー **説明:** サーバーでアプリケーションエラーが発生しました。このアプリケーションの現在のカスタムエラー設定では、セキュリティ上の理由により、アプリケーションエラーの詳細をリモート表示できません。ただし、ローカル サーバー コンピュータで実行されているブラウザで表示することはできます。 詳細: このエラー メッセージの詳細をリモート コンピュータで表示できるようにするには、現在の Web アプリケーションのルート ディレクトリにある "web.config" 構成ファイル内に、<customErrors> タ/でも成してください。その後で、この <customErrors> タグで "mode" 属性を "off" に設定してください。 <!-- Web.Config 構成ファイル --> <configuration> <system.web> <customErrors mode="Off"/> /system.web> </configuration> メモ: 現在表示されているエラー ページをカスタム エラー ページ に変更するには、アプリケーションの <customErrors> 構成タグの "defaultRedirect" 属性をカスタム エラー ページ URL に置き換えます。 <!-- Web.Config 構成ファイル --> <configuration> <system.web> <customErrors mode="RemoteOnly" defaultRedirect="mycustompage.htm"/> </system.web>